

三 沢 市 立 三 沢 病 院 事 業 運 営 審 議 会 会 議 録	
開催日時	令和6年8月20日（火）午後1時30分～午後2時30分
場 所	三沢市立三沢病院 1階 会議室
出席者	委 員 堤 喜一郎 会長 鈴木 吾朗 副会長 鈴木 重正 委員 久保田 隆二 委員 出 戸 勝 委員 野 川 剛 委員 小 向 香 織 委員 (委員7名出席)
	事 務 局 事業管理者 伊藤 悦朗 看護局長 岡田 理津子 事務局長 遠藤 恵介 同局参事兼管理課長 山本 新一 同局同課副参事兼課長補佐 山本 真人 同局同課課長補佐 小笠原 賢 同局同課経営企画係長 今井 理恵 同局同課経営庶務会計係長 沼田 恭 同局同課管財係長 千葉 嵩大 同局医事課長 田高 安功 同局同課課長補佐 種市 浩幸 同局同課課長補佐 田中 志依 同局同課医事係長 桑嶋 可奈子 同局同課経医療情報管理係長 木村 真也 将来構想企画室長 別部 容寛
次 第	1 開会 2 事業管理者挨拶 3 案件 (1) 三沢市立三沢病院の状況について (2) 令和5年度三沢市立三沢病院事業会計決算について 4 その他 5 閉会

会議の経過及び審議結果

案件

- ・案件（１）として、過去５年の患者数の推移、救急患者の推移、経常収支及び医業収支の状況及び上十三地域上十三地域保健医療圏における当院の状況、青森県地域医療構想調整会議を踏まえた連携強化・機能分化について説明しました。
- ・案件（２）として、令和６年三沢市議会第３回定例会に提出予定の令和５年度三沢市立三沢病院事業会計決算について、原案のとおり了承されました。

主な質疑は次のとおりです。

【委員】

- ・行政では今年からオンラインの妊婦相談サービス等を始めているが、病院ではオンライン診療等は検討しているか。

【三沢市立三沢病院】

- ・近隣の七戸病院では、看護師のみが訪問し、医師がオンライン診療する取組を実施している。効果的と判断できる場合は、当院でも遅滞なく実施していく。

【委員】

- ・自治体病院としての役割もあり不採算診療科も維持する必要がある等の立場もあるが、決算の収入の下落額、下落率大きい。決算なのではないが、今後の見通しはどうなっているか。収入を増やすため、支出を減らすための方策は考えているか。

【三沢市立三沢病院】

- ・収入を増やすための取組として、入院患者の増、透析実施日増による透析患者の増、PET-CTを活用したアミロイドペット検査の新規検査等に取り組んでいる。
- ・支出を減らすための取組として、上十三まるごとネットを活用した共同購入による診療材料費の削減等に取り組んでいる。
- ・病床稼働率が減少しているため、４月１日から４階東病棟（４９床）を休止し、看護師を再配置することで、救急外来の強化等、看護体制の充実を図っている。
- ・総務省委託事業を活用した外部専門家による経営診断・経営強化を行うこととしている。

【委員】

- ・物価高騰等でコストカットが困難であることも理解できる。市外居住者の入院室料の増額等も検討・研究してはどうか。

【委員】

- ・近隣病院に比べて累積欠損金が多いのはなぜか。

【三沢市立三沢病院】

- ・数年前に法律改正が行われ、議会の承認を得て資本金と累積欠損金を相殺可能となったが、相殺した病院と、従前のとおりとしている病院があり、当院は資本金・累積欠損金を従前のとおりとしている。相殺しても７億８，０００万円の累積欠損金が残る状況であり、黒

字体質になった場合に相殺を検討することとしている。

【委員】

- ・外来患者数は以前1日600人程度だったと思うが、今は400人台。外来患者数増も必要と感じるが。

【三沢市立三沢病院】

- ・医師の診察できる外来患者数は、入院病床数220床×2倍の440人を適正外来患者数としている。以前より単価が上がっており、外来収入総額は同額程度となっている。

【委員】

- ・他院に比較し、外来の対応があまり良くないと感じる。

【三沢市立三沢病院】

- ・接遇研修は毎年実施しているが、実践できていないところがあるのかもしれない。研修の充実、職員の意識改革を図る。